令和４年度　志教育全体計画

様式1

宮城県気仙沼高等学校（全日制）

校　訓

究理創造　　和親協同　　至誠励業

本校の教育目標

Ⅰ新しい時代に対応できる学力の形成を図り，創造的能力の啓発に努め，国家及び社会の形成者としての資質を養う。
Ⅱ心身を鍛え，豊かな情操と協同の精神を培い，個性の伸長を図る。
Ⅲ地域の自然や文化を尊び，国際的視野に立ち，志の実現を自ら目指し学び続ける人材を育成する。

生徒の実態，教師の願い

地域における拠点校としての期待を担っており，生徒もそれを充分自覚して高い意識を持ち学校生活を送っている。
文武両道を目指し，様々な教育活動を通じて品格や人間性を磨き，情操豊かな人間づくりに励むとともに基本的な生活習慣の確立を心がけ，明るく有意義な高校生活を送ってほしいと願っている。

保護者や地域の願い

大学進学を主としながらも多様な進路希望がある中で「進路希望が達成できる学校」としての期待が大きい。
地域住民からは「地域の子どもは地域で育てる」という強い意識のもと，今後の地域社会を担っていくリーダーの育成，並びに地域に貢献できる人材の育成を望まれており，その期待は大きいものがある。

「志教育」の目標

・今日の情報化・国際化社会において，広い視野を持ち多様な価値を理解しながら，公正な判断のできるグローバルな人材を育成する。
・自己理解を深め，調和のとれた豊かな人間性を備えるとともに人生を切り拓く力を育む。
・規律ある生活習慣の確立に向けた指導を推進する。
・社会性と規範意識の醸成に努め，周囲への思いやりと心遣いのできる人間性を養う。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
学級活動・学校行事・小中学校との交流等を通じて他者への関心や互いの共感を実感できる機会を設けるとともに，共に育ちあえるという意味での“共育”的な場への参加や学級づくりへの自主的な参画によって，自己と集団の望ましい人間関係の育成や改善を図ることができるようにする。	進路講話や総合的な探究の時間における活動，社会人講話，保健講話等を通じて自分の適性を理解させる。また，多様なモデルや「本物」との出会いを通じて自己実現に向けた意識を高めさせ，将来の職業とその実現を目指す進路について真剣に考えさせる。	学級活動や生徒会活動，部活動等学校生活のあらゆる場面で，自分の役割を自覚し，責任を持ってそれを果たすことを通じ，地域社会に貢献できる人材の育成を図る。また，震災からの復興や地方創生に向けて自身が果たすべき役割を考えることを通じ，社会への意識を高める。

各教育活動における取組の観点

各教科	各教科において基礎・基本を重視し，知識の定着を図るとともに，学習習慣をつけることを念頭に学習指導を行う。PBL型学習や探究型学習を活用し，主体的・創造的に学ぶ態度を育成する指導を行う。
道徳	思いやりの心と豊かな感受性を持って節度を重んじながら粘り強く努力する個性豊かな生徒の育成，潤い豊かな社会の実現と発展のために積極的に取り組む態度の育成を目指す。
総合的な探究の時間	自己理解，職業理解，学問研究を通して，的確な類型選択や将来の進路設計を行うための進路学習に取り組む（職業観の育成，上級学校の研究等）。また，課題研究活動をとおして，地域社会及び世界規模で価値の高い生き方，自己を活かす生き方を探究する。
特別活動	ＬＨＲにおける学級活動，各種学校行事（球技大会・文化祭・運動祭・修学旅行等），生徒会活動，部活動を通じて，集団生活における規律，友情や協力の重要性を学ぶ。
地域社会研究	多様な地域課題を理解し，協働型探究学習をとおして研究の基本的な手法を身に付け，批判的・科学的思考力，コミュニケーション力を育成する。
課題研究Ⅰ・Ⅱ	１学年で研究を重ねた地域の課題理解を発展させ,グローバルに思考するための批判的思考力・科学的思考力,総合的思考力・未来思考力を育成しながら,学び続ける意志と行動力を育む。

各学年の取組内容

１年	① 新入生オリエンテーション 気仙沼高校の特色・授業・学習習慣・校則・部活動などの指導 ② 類型選択に関する面談・ガイダンス ③ 学問研究による進路学習の実施 ④ ３年生から学ぶ進路別体験談 ⑤ 「１０年後の私」作成，発表 ⑥通年での震災・防災学習の実施
２年	①進路ガイダンス（夢ナビへの参加等） ②個人面談での進路希望調査 ③オープンキャンパス参加による進路希望先の見学 ④修学旅行（人文・理数）・台湾研修（創造） ⑤課題研究（人文・理数）・課題研究Ⅰ（創造） ⑥３年生から学ぶ進路別体験談
３年	①進路希望調査 ②進路に関する三者面談 ③進路別ガイダンス ④課題研究（人文・理数）課題研究Ⅱ（創造） ⑤自己探求 ⑥面接指導・小論文指導

家庭との連携

・ホームページや学校だより，進路通信，Ｅメール連絡網などを通じて情報のさらなる発信を進めるとともに，学校行事，ＰＴＡ活動や学校公開等で家庭と学校との相互理解・連携を図る。

地域･企業との協働

・社会人による講座を通じて人生観や職業観の育成を図るとともに，小中学校との連携授業，部活動交流や地域への奉仕活動等を通じて地域貢献を行う中で，地域から理解され支持される学校づくりを進める。